



地域包括支援センター

せいふ耳寄り情報 Vol.90

■高齢者虐待を防ぐためにできること

なぜ高齢者虐待は起こるのか

介護することで心身ともに疲れると、誰にも相談できずに抱え込んでしまうことがあります。介護をしている方が虐待だと気づかずに不適切な対応をしてしまったり、気づいていても自分では歯止めがきかなくなったりすることもあります。また、**本人のためと思い、行き過ぎた行動が虐待に繋がることもあります。**

介護者の心理・原因

- ・介護疲れ
- ・心と身体にゆとりがない
- ・お金がない
- ・性格、人格
- ・傷病や障がいがある など

人間関係

精神的・経済的依存
過去の関係の悪さ など

高齢者の心理・原因

- ・認知症によりコミュニケーションが難しい
- ・お金がない
- ・性格、人格
- ・介護が必要
- ・傷病や障がいがある など



まわりとの関わりが少ない
社会からの孤立

裏面へつづく→

ご近所にこのような高齢者はいませんか？

高齢者虐待は誰の身にも起こりうる問題です。

早期に発見すること、介護者への支援が必要です。

「あれっ？」「おかしい」「ちょっと心配」という気づきがとても大切です。

- ☐ 不自然なあざややけどのあとが見られる。
- ☐ 衣類が汚れている。
- ☐ 下着姿で放置されている。
- ☐ 天気が悪いのに、長時間家の外で過ごしている。
- ☐ 必要な医療や介護保険サービスを受けていない。
- ☐ 年金や財産収入があるのに「年金を盗られた、お金がない。」と話をされる。
- ☐ 何かに怯えている様子がみられる。
- ☐ 体重が不自然に減っている。
- ☐ 家から悲鳴や泣き声がよく聞こえたり、家族からの怒鳴り声が聞こえる。



「虐待かな？」と思ったら迷わずご相談ください。通報者の秘密は必ず守ります。

相談窓口

高齢者や介護をしている方など、すべての人が安心して暮らすことができますよう

ひとりで抱え込まず、まずご相談ください。

鶴見区役所(保健福祉課 高齢者支援)

☎06-6915-9859

鶴見区西部地域包括支援センター

☎06-6913-7878



鶴見区西部地域包括支援センター

06-6913-7878